

科目名	現代文B	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 2年2組
学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。			教科書・副教材等	高等学校改訂版 現代文B (第一学習社)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	オリエンテーション 評論(一) 「自明性の畏」からの解放	・現代文の授業や勉強方法について理解する。 ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・筆者の柔軟な思考方法に触れ、考える楽しみを味わう。			中 間 ・ 期 末
	小説(一) 山月記 評論(二)「私」中心の日本語 詩 わたしが一番きれいだったとき 永訣の朝	・すぐれた短編小説の持つ緊密な構成や文体を読み味わう。 ・小説を自己の問題に引きつけながら読み人間に対する鋭い感受性を養う。 ・二項対立、抽象論と具体例の関係など、評論の基本的な構成を学ぶ。 ・筆者の主張を起点に、自分自身や周囲の人々の言葉を意識的に見つめ直す。 ・近代詩・現代詩に親しむ。 ・近代詩・現代詩の鑑賞の方法を学ぶ。 ・近代詩・現代詩の技法について学ぶ。			
2 学 期	評論(三)手の変幻	・評論の読み方に習熟し、着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。			中 間 ・ 期 末
	小説(二) ころろ 評論(四)働かないアリに意義がある 評論(五)動的平衡 創作の楽しみ・短歌と俳句	・小説を主体的に読解・鑑賞する姿勢を身につける。 ・他者の体験や心情を自己の問題として捉え直し、人間の「生」の意味と意義を考える。 ・具体例と筆者の意見の対応を理解し、論の展開を把握する。 ・現代の社会・経済・科学技術について理解を深める。 ・二項対立を相対化し、止揚するという論の展開を正確に捉える。 ・科学と人間生活の関わりについて、自分なりに意見を深める。 ・近現代の代表的な作者の作品を鑑賞し短歌・俳句を自作する参考にする。 ・具体的なテーマのもとで短歌・俳句を作り、創作力・表現力を養う。			
3 学 期	小説(三) バグダッドの靴磨き 評論(六)「グローバル化」の中の異文化理解	・中編小説の面白さを味わい、鑑賞の仕方を学ぶ。 ・現代の戦争について理解を深める。 ・グローバル化の背景となる、経済、社会、技術の変化とグローバル化における「共通化、普遍化」と「個別化」という二面性を理解する。			学 年 末

科目名	古典B	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。	教科書 ・ 副教材 等		精選古典B 改訂版 (大修館書店)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	オリエンテーション 説話『宇治拾遺物語』 故事成語 助長・知音 随筆(一) 『徒然草』 『方丈記』 史伝 鴻門の会 物語(一) 『伊勢物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の授業や勉強方法について理解する。 ・登場人物の行動に注意して読み、場面の展開を把握する。 ・故事成語の意味の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。 ・故事成語の叙述のおもしろさを味読する。 ・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解し、『徒然草』の魅力をとらえる。 ・作者の思想の基調を理解する。 ・対句的表現や比喩などの修辞技巧を理解し、的確な描写とその表現効果について考える。 ・長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 ・様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。 ・項羽と劉邦の生涯と世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。 ・『史記』と司馬遷についての知識をまとめる。 ・歌物語の特徴、和歌と地の文との関係や表現技巧を理解し味読する。 ・当時の人々の生き方、生活や文化、ものの見方や考え方などへの認識を深める。 			中 間 ・ 期 末
2 学 期	随筆(二) 『枕草子』 史伝 項王の最期 物語(二) 『大鏡』 物語(二) 『平家物語』 漢詩 竹里館・送友人 日記 『土佐日記』	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の人柄と感性の特質を理解し、個性的な感想のおもしろさを味わう。 ・平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物とのかかわりについて正確に把握し、当時の中国文化の影響について認識を深める。 ・漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 ・「大鏡」の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 ・敬語の意味と用法について整理し理解する。 ・物語の展開に焦点を当てて読み、登場人物の言動、心情、生き方を読み取る。 ・軍記物語としての、すぐれた情景描写の表現を味わい、音便の多用、漢詩文の引用などの特徴を理解する。 ・唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 ・近体詩の形式や表現、対句などの近体詩の技法を理解する。 ・人生観や自然観についての認識を深め、文学作品を鑑賞する能力を高める。 ・日記としての形式や、文体、作者の意図について理解し、作者の心情を味わって読み、古人の旅についての理解と認識を深める。 			中 間 ・ 期 末
3 学 期	日記 『更級日記』 文章 桃花源記 物語(三) 『源氏物語』 思想 論語・荀子	<ul style="list-style-type: none"> ・物語作品などへのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。 ・散文表現の特色を理解し、作品に表れる作者の社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。 ・作者の社会批判の精神を理解する。 ・それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・物語中の人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。 ・敬語をはじめ読解の前提となる文法知識を身に付ける。 ・繰り返し読み、暗唱することを通して中国古代思想を深く読み取り、自己の考え方を豊かにする。 			学 年 末

科目名	地理B	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	1 系統地理的学習と地誌的な学習を通して、現代世界の特色や動向を考察し、地理的な見方や考え方を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養うことができる。 2 地理的事象の地域性・背景・要因を理解し、課題や将来像を考えることができる。		教科書・副教材等	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院) 地理ワークブック (愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会 地理部門)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識が高まっている。 国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を自覚し、自らの生き方について深く考えようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度 発表の積極性と内容 プリントやノートのまとめ方 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象から課題を見出している。 課題を地理的、地誌的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 課題解決に向けた論述の構成及び内容 	
資料活用・表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> 地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択し、活用できる。 諸資料から現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 地図・統計・グラフの選択と読み取り、活用 資料を用いた発表 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象についての基本的事項や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 各種プリントやノートの内容 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技術 1章 地理情報と地図 1節 地図の発達 2節 地図の種類とその利用 3節 地理情報の地図化 2章 地図の活用と地域調査		<ul style="list-style-type: none"> 世界の各地域では時刻及び季節が異なることを理解し、世界各地の時刻の求め方を習得する。 地図の技法と用途に応じて使い分ける意味を理解する。 		中間・期末
	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 世界の気候 3節 世界の気候 4節 日本自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題 2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 2節 食糧問題 3節 世界のエネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業 6節 第3次産業 7節 世界を結ぶ交通・通信		<ul style="list-style-type: none"> 地形と人々の生活の関わりを資料をもとに考察する。 世界の地形について、それぞれの特徴と災害、恩恵など人間生活への影響を理解する。 		
2 学 期	2節 世界の気候 3節 日本自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題 2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 2節 食糧問題 3節 世界のエネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業 6節 第3次産業 7節 世界を結ぶ交通・通信		<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候について、それぞれの気候区の特徴と人間生活への影響を理解する。 日本の自然の特徴と人々の生活について理解するとともに、今後の人々の生活について考察する。 産業の変化について、自然環境との関わりやグローバル化の視点から考察する。 現代世界の農業の現状と課題を理解するとともに、日本の農業の課題を考察する。 エネルギー・鉱産資源の分布や現状、課題を理解するとともに、日本の資源問題を考察する。 工業の発達や立地、世界の工業地域を理解し、世界の工業の現状と課題、日本の工業の課題を考察する。 衣食住の地域的差異を理解するとともに、日本の衣食住の変化を考察する。 		中間・期末
	3章 人口・村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題		<ul style="list-style-type: none"> 情報・通信網の発達が世界各地の結びつきを強めたことや、交通機関の発達により人・モノの移動時間が短縮され、地球を狭くさせたことを理解する。 統計資料をもとに作成された主題図を読み取り、世界の貿易の現状を理解する。 		
3 学 期	3章 人口・村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題		<ul style="list-style-type: none"> 情報・通信網の発達が世界各地の結びつきを強めたことや、交通機関の発達により人・モノの移動時間が短縮され、地球を狭くさせたことを理解する。 統計資料をもとに作成された主題図を読み取り、世界の貿易の現状を理解する。 		学年末

科目名	日本史B	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)	
学習の到達目標	日本の歴史の展開を世界的視野に立ち、歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で考察し理解する。民主的で平和的な国家・社会を形成する日本人としての自覚、及び国際社会に主体的に対応できる資質を養う。			教科書・副教材等	詳説日本史 改訂版 (山川出版社) 新詳日本史 (浜島書店)	
評 価 規 準						
観 点				方 法		
関心・意欲・態度	日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度 発言や発表の積極性とその内容 プリント・ノート 		
思考・判断	我が国の歴史の展開から課題を見だし、文化と伝統の特色についての認識を深めながら世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断することができる。			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発言・発表 課題の発見及び解決に向けた論述やレポート 		
資料活用の技能・表現	諸資料を収集し、有用な情報を選択し、その情報を活用し、歴史的事象を追究する方法を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現することができる。			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 作業プリントの取組 資料・統計・グラフの選択と読み取り、活用 		
知識・理解	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発言・発表 各種プリント・ノート 		
学 習 計 画						
学 習 内 容				学 習 の ね ら い		考 査
1 学 期	第1章 日本文化のあけぼの (1) 文化のはじまり (2) 農耕社会の成立 (3) 古墳とヤマト政権			<ul style="list-style-type: none"> 縄文時代の人々の生活や文化を理解する。 農耕社会の発達、人々の生活に与えた影響を理解する。 古墳の規模や分布、副葬品を学ぶとともに、ヤマト政権の成立とその特徴を理解する。 		中 間 ・ 期 末
	第2章 律令国家の形成 (1) 飛鳥の朝廷 (2) 律令国家への道 (3) 平城京の時代 (4) 天平文化			<ul style="list-style-type: none"> 6世紀から7世紀にかけての国内情勢を東アジア地域との関連も含めて理解する。 天平文化の特色を理解する。 		
2 学 期	(5) 平安朝廷の形成			<ul style="list-style-type: none"> 藤原摂関家と朝廷との関係を中心に、9世紀中頃からの政治について学習する。 中国との関係の変化と、文化の国風化による日本文化の形成について学習する。 荘園の発達による私領の形成、武士団の形成について学習する。 		中 間 ・ 期 末
	第3章 貴族政治と国風文化 (1) 摂関政治 (2) 国風文化 (3) 地方制度の展開と武士					
	第4章 中世社会の成立 (1) 院政と平氏の台頭 (2) 鎌倉幕府の成立 (3) 武士の社会 (4) 蒙古襲来と幕府の衰退 (5) 鎌倉文化			<ul style="list-style-type: none"> 院政と平氏の政権について学習する。 12世紀後半の鎌倉幕府成立の過程と、公武二重支配構造について学習する。 元による二度の襲来を学び、幕府への影響を理解する。 鎌倉時代の文化について理解する。 		
3 学 期	第5章 武家社会の成長 (1) 室町幕府の成立 (2) 幕府の衰退と庶民の台頭 (3) 室町文化 (4) 戦国大名の登場			<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の関係について様々な観点から学習し、理解する。 鎌倉幕府の滅亡と建武の新政、室町幕府成立の過程について理解する。 		学 年 末
	第6章 幕藩体制の確立 (1) 織豊政権 (2) 桃山文化 (3) 幕藩体制の成立			<ul style="list-style-type: none"> 幕府の衰退と戦国大名による分国法制定等の分国統治を中心に学習し、理解する。 織田信長と豊臣秀吉の天下統一について理解する。 桃山文化について理解する。 幕藩体制が中央集権的であったことを理解する。 		

科目名	現代社会	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組 普通科 2年2組
学習の到達目標	現代の社会と人間について理解を深め、良識ある公民として必要な知識を身に付けるとともに、広い視野に立ち、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 改訂版 新現代社会 (第一学習社) フォーラム現代社会 (とうほう)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	現代社会に関わる基本的問題や事柄に対して関心が高まり、諸課題を主体的・意欲的に追究しようとし、より良い社会や生き方について考えを深めようとしている。			<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況 ・レポート ・授業プリント ・ノート 	
思考・判断	社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて、広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場を踏まえ主体的に考え、公正に判断することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の論述問題 ・レポートの内容 ・発表の内容や仕方 ・授業プリント 	
資料活用の技能・表現	学習に役立つ有用な情報を主体的に選択して活用することができる。また、課題を追究し、考察した結果を適切に表現することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の論述問題 ・レポートの内容 ・発表の内容や仕方 ・授業プリント 	
知識・理解	現代社会の基本的な問題と人間にかかわる事柄や学び方、人間尊重の精神を理解し、その知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題プリント 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1編 私たちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の問題について基礎的事柄を理解し、課題追究学習を通して、主体的に考察する。 			中間・期末
	第2編 現代の社会と人間としてのあり方・生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特質について理解を深め、より良い社会や生き方について考察する。 			
	第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義を理解し、より良く生きることを追究することの大切さを理解する。 ・個人と国家について社会契約説をもとに考察するとともに、人権保障と法の支配について理解し、民主政治の基本原則について理解を深める。 			
2 学 期	第4章 国際政治の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国会・内閣・裁判所について理解する。 ・地方自治や選挙制度などについて理解し、今後のあり方を考察する。 ・国際社会について理解し、領土問題や人種・民族問題といった諸課題と日本のあり方について考察する。 			中間・期末
	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の産業構造と企業の役割を理解し、企業の社会的責任について考察する。 ・市場経済の働きや政府の経済的役割、金融機関の働きについて、実際の生活との関わりに注目しながら理解する。 ・現代の経済的諸問題について、国民福祉向上の観点から考察する。 ・資本主義経済と社会主義経済の変容や現代の国際経済の現状について理解する。 			
3 学 期	第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済における諸課題と日本のあり方について考察する。 ・人間の尊厳と生命の尊重や民主社会における自由、平等についてより深く理解し、より良い社会のあり方を考察する。 			学年末

科目名	数 学 II	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組 (選択) 普通科 2年2組 (選択)	
学習の到達目標	式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書 副教材等	改訂版 新編 数学II (数研出版) パラレルノート 数学II (数研出版)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題への取り組み ・ノートのまとめ方 ・説明を聞く態度 ・身だしなみ 		
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学にとらえ論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査 		
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現・処理する方法や推論の方法を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査 		
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語及び記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査 		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と方程式の解 第2節 高次方程式			<ul style="list-style-type: none"> ・整式の除法を理解し、分母が2次程度の分数式の計算方法や、恒等式について理解する。 ・等式・不等式の証明を理解し、それを通して論証についての理解を深める。 ・2次方程式が常に解を持つようにするために、数を複素数まで拡張することができるようにする。 ・解の公式、判別式や解と係数の関係を用いて、2次方程式の解のいろいろな性質を調べることができるようにする。 ・剰余の定理や因数定理を学び、高次方程式の解法を考えることができるようにする。 		中間・期末
2 学 期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域			<ul style="list-style-type: none"> ・座標平面上において、2点間の距離や線分の内分点、外分点、点相互の位置関係を考察することができるようにする。 ・いろいろな条件を満たす直線の方程式を求め、2直線の位置関係を傾きの関係でとらえることができるようにする。 ・いろいろな条件の円の方程式を求め、円と直線の位置関係を、連立方程式の解、円の中心と直線の距離から考察することができるようにする。 ・軌跡の概念を理解し、計算により軌跡を求める。x、yの不等式は座標平面上のある範囲を表すことを理解することができるようにする。 		中間・期末
3 学 期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理			<ul style="list-style-type: none"> ・一般角の概念を理解し、弧度法を用いて扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにする。 ・一般角の三角関数の定義を理解し、周期性や対称性に注目してグラフをかくことができるようにする。 ・三角関数についての方程式や不等式を、単位円やグラフを用いて解くことができるようにする。 		学年末

科目名	数学Ⅱ・B	単位数	6	学科・学年・学級	普通科 2年2組(選択)
学習の到達目標	式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法・積分法、ベクトル、数列の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版) 改訂版 新編 数学B (数研出版) FocusZ 数学Ⅱ+B (啓林館)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題への取り組み ・ノートのとめ方 ・説明を聞く態度 ・身だしなみ 	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・ノートのとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査 	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現・処理する方法や推論の仕方を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査 	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語及び記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	[数学Ⅱ] 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・等式や不等式を証明することの意味や方法について学ぶことにより、数学的な考え方や論理的思考力を養い、式と証明についての理解を深める。 ・方程式の解を発展的にとらえ、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことや因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できるようにする。 ・ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。 			中間・期末
	[数学B] 第1章 平面上のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・空間ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。 			
2 学 期	[数学B] 第2章 空間のベクトル [数学Ⅱ] 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数について理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 ・指数関数、対数関数について理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 			中間・期末
	[数学B] 第3章 数列	<ul style="list-style-type: none"> ・等差数列、等比数列などの簡単な数列について、一般項や第n項までの和を求めたり、記号Σの意味を理解しそれを用いたりできるようにする。 			
3 学 期	[数学B] 第3章 数列	<ul style="list-style-type: none"> ・数列に関するこれらの考え方を基にして、漸化式と数学的帰納法について理解させる。 			学 年 末
	[数学Ⅱ] 第6章 微分法と積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 			

科目名	物理基礎	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。			教科書・副教材等	改訂版 物理基礎 (数研出版) 四訂版 リードα物理基礎・物理 (数研出版)
評価規準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の態度 実験や実習への取り組み 授業ノート、訂正ノートの提出状況 	
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 章末問題テスト 実験レポートの考察 	
観察・実験における技能	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> 実験や実習の習熟度 実験データの処理 (計算やグラフ化など) 	
知識・理解	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> 章末問題テスト 実験レポート 発表の内容 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則 第3章 仕事と力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 運動の表し方について、日常に起こる物体の運動を観察、実験を通して取り扱い、物理学的に探究する能力と態度を養う。 身近な物体に働く力を見だし、その役割を理解する。 力学的エネルギーについて、仕事と関連付けながら、力学的エネルギーの保存について理解する。 			中間・期末
2 学 期	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音	<ul style="list-style-type: none"> 熱現象とエネルギーの関係を扱うための基礎として、熱運動と温度の関係、熱と仕事の変換などを理解する。 音に限らず身の回りには多くの波動現象が存在することに気付かせ、波の現象についての基本的な性質や表し方を、直線状に伝わる波を通して理解する。 			中間・期末
3 学 期	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 第2章 交流と電磁波 第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーとその利用 第2章 物理学が拓く世界	<ul style="list-style-type: none"> 物質により抵抗率が異なることや日常生活での交流の利用などを理解する。 人類が利用可能な様々なエネルギーの特性や利用などについて物理学的な視点から総合的に理解する。 			学年末

科目名	生物基礎	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	1 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 2 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高める。 3 生物学的に探究する能力と態度を育てる。	教科書・副教材等	生物基礎 改訂版 (啓林館) 生物基礎の基本マスター 改訂版 (啓林館)		
評価規準					
観点	評価規準	方法			
関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実験への取り組み ・課題の提出状況 ・ノート 			
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・実験レポート (考察) 			
観察・実験における技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の習熟度 ・実験データの処理 (計算、作図) ・発表の方法 			
知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・問題プリント ・実験レポート ・発表の内容 			
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	第1部 生物の特徴 第1章 生物の多様性と共通性 第2章 細胞とエネルギー 第2部 遺伝子とそのはたらき 第1章 遺伝情報とDNA 第2章 遺伝情報の複製と分配	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解する。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。その際、呼吸と光合成の概要を学ぶ。 ・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解する。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解する。 			中間・期末
2 学期	第3章 遺伝情報とタンパク質の合成 第3部 生物の体内環境の維持 第1章 体内環境と恒常性 第2章 体内環境の維持のしくみ 第3章 免疫	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解する。 ・体液濃度の調節により、体内環境が保たれていることを理解させる。その際、血液凝固や腎臓の塩類濃度調節について学ぶ。 ・ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解する。 ・細胞が病原体の侵入を防ぐために、異物を認識し、排除するしくみを理解する。 			中間・期末
3 学期	第4部 生物の多様性と生態系 第1章 多様な植生と遷移 第2章 気候とバイオーム 第3章 生態系とその保全	<ul style="list-style-type: none"> ・植生は不変ではなく、光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解する。 ・気温や降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立していることを理解する。 ・生態系において物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが移動することを理解する。 ・生態系のバランスについて理解する。 			学年末

科目名	化学	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			教科書・副教材等	化学 改訂版 (啓林館) セミナー化学基礎+化学 (第一学習社) 化学基礎・化学実験ノート (高教研理科部会化学部門)
評 価 規 準					
観 点				方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 物質や化学反応に関心をもち、意欲的にそれらを探究している。 自然を総合的に捉える科学的態度を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 実験に臨む意欲や態度 報告書の提出状況 授業ノート 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 自然現象の中に問題を見出すことができる。 実験や観察を行い、分析的かつ総合的に考察することにより、問題を解決できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 実験ノート (考察) 	
実験における技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 実験の技能を正しく習得できている。 実験の過程や結果、及びそこから導いた自らの考えを的確に表現することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 実験の習熟度 実験データの処理 発表の方法 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 物質や化学反応についての実験を行うことにより、基本的概念や原理・法則を理解して、知識を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 問題集 実験ノート 発表の内容 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第2部 物質の変化と平衡 第1章 化学反応と熱・光エネルギー 第2章 化学反応と電気エネルギー 第1部 物質の状態 第1章 固体の構造		<ul style="list-style-type: none"> 電気分解について、電気エネルギーが化学エネルギーに変換されることや電池についての化学エネルギーを電気エネルギーに変換して取り出す仕組みであることを理解する。 化学反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差が熱で光の発生や吸収で現れることやエネルギーの出入りが熱化学方程式で表せることを理解する。 固体の結晶格子の概念と結晶の構造について理解する。 		中間・期末
2 学 期	第2章 物質の状態変化 第3章 気体の性質 第4章 溶液の性質		<ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化や気体の性質の構造について、実験などを通して、物質の状態とその変化を理解する。 溶解、溶解平衡及び溶液の性質について、実験などを通して、溶解平衡と溶液の性質を理解する。 		中間・期末
3 学 期	第2部 物質の変化と平衡 第3章 反応速度 第4章 化学平衡		<ul style="list-style-type: none"> 反応速度が単位時間内に变化する物質の量で表されることや、反応速度が濃度、温度、触媒などの影響を受けて変わること理解する。 可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動について理解する。 		学年末

科目名	体育	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科2年1組、普通科2年2組	
学習の到達目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を習得したり、高めたりして、運動の楽しさや喜びを体験する。 2 体の調子を整えたり、仲間との交流を自主的・計画的・積極的に育成したりする資質を身に付ける。 3 公正・協力・責任などの社会的な態度を育て、健康・安全に留意し生涯を通じて継続的に運動できる能力や態度を育成する。	教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版 現代高等保健体育ノート (大修館書店)			
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全に留意し互いを尊重して練習や試合を自主的に行うとともに、公正な態度が取れるようにしている。 互いに協力し、自己に適した楽しみ方ができるよう積極的に取り組もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 参加意欲の観察 活動状況の観察 		
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 特性に応じた動きを選択し工夫して練習を行い、互いの動きを評価しようとしている。 全員が楽しめるようにルールを工夫し、アイデアを出し合っって学習を進めている。 			<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 		
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ゲームで役立つチーム練習や戦術を、他者と協力して高めよう工夫している。 集団的、個人的技能を活用し、学習段階に応じた作戦を立てゲームに取り組もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 活動状況の観察 スキルテストや記録会の結果の分析 		
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 互いに練習計画を立てたり、試合の運営をしたりしている。 個々の能力に応じた課題やチーム課題の解決を目指して、計画的な練習や試合をしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ゲームの中の審判等の実施状況の観察 理解状況の観察 		
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考 査
1 学期	1 体育の学習について 2 体育理論 3 体づくり運動 4 球技・武道（選択） (男子) サッカー ソフトボール ハンドボール 柔道・剣道 (女子) バスケットボール バレーボール バドミントン 柔道・剣道	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会におけるスポーツの意義や必要性、スポーツライフの設計と実践についての理解を深める。 集団行動の意義や行い方を理解する。 自己の体力や生活に応じた体づくりを行うことができるように、体づくり運動を計画的に実践していく方法を学習する。(球技) 技能に応じた攻め方・守り方とルールを工夫して練習やゲームができるようにする。 攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 互いが協力して作戦を立てて、集団技能や個人的技能を活用して試合ができるようにする。 				実施なし
2 学期	1 体操・ダンス 2 球技・武道（選択） (男子) サッカー ソフトボール ハンドボール 柔道・剣道 (女子) バスケットボール バレーボール バドミントン 柔道・剣道 3 陸上競技(中長距離走)	<ul style="list-style-type: none"> (武道) 武道の伝統的な考え方や行動の仕方を学び、相手を尊重する態度と自己の能力に応じた技を習得して相手の動きに対応した攻防ができるようにする。 (体操・ダンス) リズムの取り方や動き方、相手との対応の仕方などを工夫して踊りを楽しみ、他者と交流することができるようにする。 (陸上競技) 自己に適したペースで走ることができ、自己の記録に挑戦できるようにする。 				実施なし
3 学期	球技（選択） (男子) バスケットボール サッカー、卓球 (女子) バスケットボール バレーボール、卓球	<ul style="list-style-type: none"> 動きを持続する能力を高める運動ができるようにする。(体育理論) 技術の特徴に応じた学習の仕方があることや、技能を高めるために何をどのように取り組めばよいのか、健康・安全をどのように確保するのかなどの運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 				実施なし

科目名	保健	単位数	1	学科・学年・学級	森林環境科2年1組、普通科2年2組
学習の到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版 現代高等保健体育ノート (大修館書店)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 板書事項だけでなく、自分で探した健康に関する情報を収集しようとしている。 自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 			<ul style="list-style-type: none"> ノート レポート内容 授業観察 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 個人、社会生活における心身の健康や安全に関する課題を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えるようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 保健に関する情報をスクラップし、自分の考えを示す。 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 各学期末考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	2 生涯を通じる健康 (1)思春期と健康 (2)性意識と性行動の選択 (3)結婚生活と健康 (4)妊娠・出産と健康 (5)家族計画と人工妊娠中絶 (6)加齢と健康 (7)高齢者のための社会的とりくみ (8)保険制度と保健サービスの活用	<ul style="list-style-type: none"> 思春期における体の発達の特徴、行動面・心理面の特徴について学習する。 性意識の男女差を、性的欲求のあらわれ方の違いを例にして学習する。 結婚生活についての基本的な考え方や結婚生活が家庭の健康作りに大切な役割をになっていること、また受精・妊娠・出産の過程を学習する。 家族計画の意義や避妊法・人工妊娠中絶のリスクについて学習する。 加齢にともなう心身の変化について、また、中高年期を健やかに過ごすためにはどうしたらよいか、高齢者の生活と健康および高齢社会について、また保健行政のしくみなどについて学習する。 			期 末
2 学 期	(9)医療制度と医療費 (10)医療機関と医療サービスの活用 3 社会生活と健康 (1)大気汚染と健康 (2)水質汚濁と健康 (3)土壌汚染と健康 (4)健康被害の防止と環境対策 (5)環境衛生活動のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> 医療保険および医療費について、しくみや内容について理解し、地域における保健・医療機関と福祉施設の連携や医療サービスの仕方について学習する。 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染についての原因物質や、どのように健康に影響するのかなどについて学習する。 環境汚染による健康被害をふせぐためにはどうしたらよいか問題点を発見したり、解決方法を考えたりする。 			期 末
3 学 期	(6)食品衛生活動のしくみと働き (7)食品と環境の保健と私たち (8)働くことと健康 (9)労働災害・職業病と健康 (10)健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> 食品の安全性と食品衛生行政のしくみや衛生管理方法、食品の安全性を確保するためのさまざまな情報について正確な知識を身に付ける。 働く人の健康問題や労働災害・職業病とその予防、心と体の健康作りに関して知識を持ち日常生活における取り組みについて学習する。 			学 年 末

科目名	音楽Ⅱ	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)	
学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化への理解を深める。			教科書・副教材等	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti (教育出版)	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、さまざまな音楽や音楽文化に関心を持つとともに、意欲的、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。			・授業態度 ・活動状況 ・提出物		
芸術的な感受や表現の工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持っている。			・活動状況 ・実技テスト ・小テスト		
創造的な表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。			・活動状況 ・実技テスト ・小テスト		
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。			・鑑賞の感想 ・確認小テスト ・レポート		
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考查
1 学 期	1	歌唱 ・ポピュラーソング ・芸術歌曲	・言語の持つ語感を把握し、曲想を感じ取って表現できるようにする。 ・腹式呼吸と発声法を身に付け、のびやかな声で生き生きと表現できるようにする。			実施なし
	2	器楽 ・ギター ・カホン	・基本的奏法を確認する。 ・主要なコードを確認し、弾き語りをする。 ・アンサンブルを楽しみながら演奏する。			
	3	鑑賞 ・西洋の音楽	・オーケストラの楽器について、理解しそれぞれの音色の特徴に留意しながら鑑賞する。			
2 学 期	1	鑑賞 ・ミュージカル、オペラ	・それぞれの時代背景や演奏形態、作曲者、楽曲の特徴などを学習し、そのよさや美しさを味わう。			実施なし
	2	合唱 ・輪唱の楽しみ ・混声合唱 ・アカペラ	・パートの役割を意識し、協力し合って主体的に合唱活動しながら、声を重ね合わせる喜びを味わう。 ・曲想を感じ取りながら各声部の全体的な調和に関心を持ち、表現する。			
	3	歌唱 ・芸術歌曲	・楽譜中に出てくる記号や用語の意味を理解し、表現できるようにする。			
	4	器楽 ・トーンチャイム	・演奏を通して互いを理解しあう。 ・協力して一つの音楽を作り上げる楽しさを味わう。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫する。			
3 学 期	1	鑑賞 ・日本の伝統音楽	・日本の伝統音楽について理解し、関心を持ちながら鑑賞する。			実施なし
	2	器楽 ・ギター	・基本的奏法を習得する。 ・メロディ奏とコード奏を習得し、アンサンブルをする。			
	3	卒業式の練習	・式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。			

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。		教科書・副教材等	Revised ENGLISH NOW English Communication II (開隆堂)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言、発表の内容 ・課題提出、ノート作成状況	
外国語表現の能力	・英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。			・小テスト、定期考査 ・課題の内容	
外国語理解の能力	・英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。			・定期考査、課題テスト ・教科書の内容や関連事項についてのQ&A	
言語や文化についての知識・理解	・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	友達にインタビューする Lesson 1 My Hometown Lesson 2 Eekanji	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな英語表現に触れる活動をし、英語でのコミュニケーションに慣れ親しむ。 ・ALTの故郷について意見交換する。 ・現在完了進行形の使い方について理解する。 ・漢字の表す意味を説明する。 ・過去完了形の使い方について理解する。 ・日本文化についてまとめ、発表する。 			中間・期末
2 学 期	Lesson 3 A Dog's Tale Reading 1 Why Did Grandpa Become a Ghost? Let's Communicate①	<ul style="list-style-type: none"> ・介助犬の図書館での役割について理解する。 ・知覚動詞の使い方について理解する。 ・非言語コミュニケーションについて知る。 ・物語を読んで、登場人物の心情や気持ちを理解する。 ・自分が登場人物ならどのように行動するかを想像する。 ・スキヤニングやスキミングを使って、情報交換する。 			中間・期末
3 学 期	Lesson 4 Wonders of Japan Lesson 5 Personal Space	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人旅行者が日本で驚いたことや感心したことを読み取る。 ・to不定詞の構文について理解する。 ・日本の魅力について英語で説明する。 ・話す相手との距離感についての文化の面での違いを知る。 ・関係代名詞whatを含む構文について理解する。 			学年末
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。	教科書・副教材等	Vivid English Communication II NEW EDITION (第一学習社) スクランブル英文法・語法 (旺文社)		
評価					
観点	評価規準			方法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・課題提出、ノートの作成状況	
外国語表現の能力	・英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。			・小テスト、定期考査 ・課題の内容	
外国語理解の能力	・英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。			・定期考査、課題テスト ・教科書の内容や関連事項についてのQ&A	
言語や文化についての知識・理解	・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学 期	Lesson 1 Pictograms – Useful Signs on Streets Lesson 2 Fun with Pakkun Lesson 3 Original Is Not Just a Piece of Paper Focus on Grammar ①	<ul style="list-style-type: none"> ・進行形・受け身 / S+V+C (=現在分詞・過去分詞) / seem to～の表現について理解する。 ・It is+(for A) to～ / S+V+it+C+to～ / All you have to do is (to)～の表現について理解する。 ・It is+形容詞+that・節 / S+V+it+C+that・節 / S+V+O+O(=名詞節)の表現について理解する。 ・文構造について理解する。 			中間・期末
	Lesson 4 Numbers Talk Lesson 5 The doctor in the Stomach Focus on Grammar ② Lesson 6 Nature for the Next Generation Lesson 7 A Young Man in the Sea Who Made a Change Focus on Grammar ③	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の制限用法 / 関係代名詞の非制限用法 / 完了形 / 完了形(受け身)について理解する。 ・群動詞(受け身) / 進行形(受け身) / 関係副詞の制限用法 / 関係副詞の非制限用法について理解する。 ・受け身の応用表現 / 関係詞①について理解する。 ・「時」や「理由」などを表す副詞節 / 分詞構文(現在分詞) / 「推量」を表す助動詞 / 助動詞+have+過去分詞の表現について理解する。 ・「時」や「理由」などを表す副詞節 / 分詞構文(過去分詞) / 関係代名詞…前置詞 / 前置詞+関係代名詞について理解する。 ・副詞の働きをする句や節 / 関係詞②について理解する。 			中間・期末
3 学 期	Lesson 8 Streetcars in the 21 st Century Lesson 9 The Challenge of Disarmament Lesson 10 Inventing Innovative Things for Society Focus on Grammar ④	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去 / S+V+O+C (=原形不定詞・現在分詞) / S+V+O+C (=過去分詞) / 同格のthatについて理解する。 ・have [get]+O+過去分詞 / 完了不定詞 / 仮定法過去完了 / 省略について理解する。 ・複合関係詞 / as if+仮定法 / 分詞構文(完了形) / 倒置について理解する。 ・仮定法 / 特別な構文について理解する。 			学年末
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	英語表現Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。	教科書・副教材等		New ONE WORLD Expressions II Revised Edition (教育出版) 英語ターゲット 1400 5訂版 (旺文社) SEED総合英語[四訂新版] (文英堂)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言、発表の内容 ・ペアワークやグループワークの活動状況	
外国語表現の能力	・事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、英語で伝えることができる。			・小テスト、定期考査 ・教科書の内容やその関連事項についてのQ&A	
言語や文化についての知識・理解	・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	Lesson 1	・現在形、過去形、現在進行形、過去進行形の文を理解する。			中 間 ・ 期 末
	Lesson 2	・現在完了形、過去完了形、現在完了進行形、過去完了進行形の文構造を理解する。			
	Lesson 3	・未来の表現を理解する。			
	Lesson 4	・助動詞、助動詞＋完了形の文について理解する。			
	Lesson 5	・受動態（受け身）の表現について理解する。			
2 学 期	Lesson 6	・動名詞と不定詞の表現について理解する。			中 間 ・ 期 末
	Lesson 7	・使役動詞＋O＋原形不定詞の表現について理解する。			
	Lesson 8	・副詞、副詞句、副詞節の表現について理解する。			
	Lesson 9	・準否定、部分否定について理解する。			
	Lesson 10	・疑問詞＋不定詞、疑問詞節について理解する。			
	Lesson 11	・形式主語の表現について理解する。			
	Lesson 12	・比較の表現について理解する。			
	Lesson 13	・受身形、完了形の分詞構文について独立分詞構文について理解する。			
3 学 期	Lesson 14	・複合関係詞、関係詞の非制限用法について理解する。			学 年 末
	Lesson 15	・仮定法について理解する。			
	Lesson 16	・強調構文、倒置構文について理解する。			
	英語の歌	・英語の歌の詩の世界観を味わう。			
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	生活実践	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	1 衣食住、環境、家庭経済、マナーなどに関する青年期に必要な生活技術や知識を習得する。 2 生涯の生活をより良くするための課題解決学習に取り組み、実践する能力と態度を育てる。 3 技術検定を受験し、技術力の定着を図る。	教科書・副教材等	最新生活ハンドブック (第一学習社) 家庭科ノート 調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編)		
評価					
観点	評価規準			方法	
主体的に学習に取り組む態度	家庭生活に関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組み、創造的、実践的な態度を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度や発表等 課題やノート、ワークシート 作品 	
思考・判断・表現	家庭生活に関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> 課題やノート、ワークシート、感想 実習の計画、記録 作品 定期考査 	
知識・技能	家庭生活やマナーに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。			<ul style="list-style-type: none"> 課題やノート、ワークシート 実習態度・作品 定期考査 	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1学期	1 自分を見つめる (1) 人生の目標と経済計画 (2) 10年後の私 (3) コンテスト出品計画	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイクルにおける青年期の役割を考え、ライフプランを作成する。また、収入と支出などの家計の管理やカード社会に関する理解を深め、公的年金や保険についても考える。 家庭基礎で学んだ内容を踏まえ、各種家庭科に関するコンテストに応募し、技術の向上・表現力を高める。 栄養・食品・調理に関する知識と技術を習得し、充実した食生活を営むことができるようにする。 技術検定に挑戦し、技術向上を図る。 			期末
	(2) 被服編 被服製作技術検定4級 (3) 保育・福祉編	<ul style="list-style-type: none"> 被服の製作に関する知識と技術を習得し、充実した衣生活を営むことができるようにする。 技術検定に挑戦し、技術向上を図る。 乳幼児や高齢者の心身の特徴を理解し、現状と課題を考える。 交流を通して、実践力を身に付ける。 			期末
3学期	3 住まい方を考える	<ul style="list-style-type: none"> 家族の形態や暮らし方を想定した住居の平面計画・インテリア計画ができるようにする。 			学年末
	4 マナーを身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 洋食献立におけるテーブルマナーを学ぶ。 茶道の実践を通して、礼儀や文化について考え、もてなしの心を養う。 家庭や学校における問題や課題を見つけ、グループで学習する。 			
	5 課題研究				

科目名	ビジネス基礎	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)	
学習の到達目標	1 ビジネスに関する基礎的な知識・技術を習得し、経済社会で生きていく力を身につける。 2 経済社会の一員としての自覚を持ち、ビジネスの諸活動に適切に対応できる能力・態度を養う。			教科書・副教材等	新訂版 ビジネス基礎 (東京法令出版) 電卓実務検定模擬問題集 2・3級 (東京法令出版)	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	ビジネス活動に広く関心を持ち、その意義や役割の理解及び諸問題の探求を目指して、主体的に学習に取り組み、経済社会であることを自覚し、経済社会を生きる力を身につけようとしている。			・出席状況 ・授業態度		
思考・判断	基礎的・基本的な知識と技術を身につけ、ビジネスに関する諸問題を把握し、知識と技術を活用して適切に判断する能力を身につけている。			・授業中の質問等の応答 ・実習への取り組み		
技能・表現	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身につけ、経済社会の一員として適切に実践し、その成果を的確に表現できる。			・実技テスト ・実習プリント ・進捗状況		
知識・理解	ビジネスを学ぶ目的や学び方を理解し、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの事象を説明できる。			・定期考査 ・小テスト		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第1章 商業の学習ガイダンスオリエンテーション 1 21世紀を生きる 2 ゆっくり楽しく学ぶ 第2章 経済生活とビジネス 1 経済のしくみとビジネス 2 ビジネスの役割 3 ビジネスの発展 4 ビジネスに対する心がまえ 第3章 ビジネスと流通活動 1 経済活動と流通 2 流通活動の特徴 3 流通活動と企業 4 ビジネスの担当者			<ul style="list-style-type: none"> 「ビジネスの理解力と実践力を身につけること」が商業を学ぶ目的の一つであることを理解する。 創造力や主体性の大切さについて理解する。 豊かな人間性とは何かを考え、その大切さを理解し、各自が自分自身を知り、強く生きていく気持ちを養う。 経済について、生産・流通・消費のつながりや、経済主体としての家計・企業・財政を理解する。 企業が行うビジネス活動と経済の関係を理解し、ビジネスを具体的にイメージできるようにする。 ビジネスの発展による利点を理解する。 ビジネスにおける国際化について理解する。 情報化がビジネスにおいて重要であることを理解させ、情報化によりビジネスの変化を理解する。 		期末
	第4章 ビジネスと売買取引 1 売買取引と代金決済 2 売買に関する計算			<ul style="list-style-type: none"> 商取引における契約の重要性、売買契約の締結と履行の意義を理解させる。 売買契約の締結の手順を理解する。 売買取引に用いられる文書を知り、目的と役割を理解する。 通貨の種類やその発行主体、小切手、手形について理解する。 電子商取引の概要と決済方法について理解する。 分数・小数などの表示方法や基本的割合に関する公式を理解し、ビジネス計算の基礎を理解する。 仕入原価と利益、定価、売価について理解し、計算ができるようになる。 数量と代価の計算ができるようになる。 度量衡や外国貨幣と邦貨の換算ができるようにする。 		中間・期末
3 学 期	第5章 外国人とのコミュニケーション 1 コミュニケーションの心がまえ 2 コミュニケーションの方法 3 日常の会話			<ul style="list-style-type: none"> 他人とのコミュニケーションの必要性を理解する。 外国の文化や習慣、マナーを理解することの重要性を把握する。 外国人とのコミュニケーションの方法を学ぶ。 		学年末
【技能審査の成果と単位認定】 ・在学中に「全国商業高等学校協会主催商業経済検定1級」または「全国商業高等学校協会主催英語検定1級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「ビジネス基礎」の単位数に2単位、「全国商業高等学校協会主催珠算・電卓実務検定(電卓)1級」を取得した場合は1単位を加えることができる。						

科目名	簿記	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	1 企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を身に付ける。 2 企業において日常的に発生する取引を合理的に、かつ能率的に記帳する技術の習得を通して、取引の仕訳から決算までの簿記の基本的な仕組みを学習する。	教科書 副教材等	新訂版 簿記 (東京法令出版) 標準検定簿記問題集3級 (とうほう)		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 企業における簿記を理解し、それに興味を持ち、主体的に学習に参加している。 取引の整理を行い、財務諸表の作成技術を身につけようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業態度 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 簿記の基本的な技術を身に付け、それを活用して、適切な判断ができています。 簿記の判断基準に従って判断処理が適切に行うことができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の質問等の応答 演習における姿勢 	
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、帳簿記入が正確かつ迅速にできる。 取引を計数的に把握し、適切に処理ができた確に表現できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 問題集 プリント 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 簿記の一連の手続きが理解できている。 財務諸表を適切かつ正確に作成し、内容を分析できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	オリエンテーション 第1編 簿記の基礎 資産・負債・資本・収益・費用 仕訳と勘定 仕訳帳と総勘定元帳 決算	<ul style="list-style-type: none"> 簿記の意味、目的、種類について理解する。 資産・負債・資本を理解し、これらの関係および貸借対照表のしくみを理解する。 収益・費用を理解し、これらの関係および損益計算書のしくみを理解する。 取引が仕訳できる。 仕訳帳と総勘定元帳の記帳ができる。 決算時の勘定締め切りができる。 			中間・期末
2 学 期	第2編 取引の記帳 商品売上の取引 現金預金の取引 手形、掛けの取引 有価証券の取引 債権・債務の取引 固定資産の取引 税金の取引 営業費の取引	<ul style="list-style-type: none"> 3分法による記帳ができる。 簿記上の現金、現金過不足、小口現金、当座預金の記帳方法について理解する。 手形の記帳方法について理解する。 債権・債務の種類とその記帳方法について理解する。 売掛金、買掛金の各元帳を記帳できるようにする。 有価証券の内容とその記帳方法を理解する。 債権・債務の種類とその記帳方法を理解する。 固定資産の種類とその記帳方法を理解する。 資本金の意味とその記帳方法を理解する。 個人企業の税金の種類とその記帳方法を理解する。 			中間・期末
3 学 期	第3編 決算 決算 第4編 帳簿と伝票	<ul style="list-style-type: none"> 3伝票制のしくみとその作成方法を理解する。 決算整理の方法を理解する。 決算整理事項について理解する。 精算表が作成できるようにする。 貸借対照表、損益計算書の記帳方法について理解する。 			学年末